

仮想 COM ポートドライバーをパソコンにインストールすることにより、FTDx3000 シリーズとパソコンとを USB ケーブルで接続して、CAT 通信、TX 制御 (PTT、KEY、FSK)、および、ファームウェアのアップデートを行う事ができます。

FTDx3000 シリーズには 2 つの仮想 COM ポートを搭載しておりますので、CAT 通信および各種 TX 制御を行うことが可能です。

このマニュアルを最後までお読みいただき、内容に同意いただいた上で当社ホームページのドライバーダウンロードページ (http://www.yaesu.com/jp/amateur_index/driver/GetStart.html) よりダウンロードおよび、インストールを行なってください。

このインストールプログラムは、[シリコン・ラボラトリーズ社](#)より提供されています。

なお、シリコン・ラボラトリーズ社の Web サイト (<http://www.silabs.com/products/mcu/pages/usbtouartbridgevcpdrivers.aspx>) より、最新の仮想 COM ポートドライバーをダウンロードすることが可能です。

上記サイト内の「CP210x_VCP_Windows.zip」をダウンロードして下さい。

(シリコン・ラボラトリーズ社の Web サイトリンク先 URL は 2013 年 11 月現在のものです。)

動作環境

対応 OS

- ・ Microsoft® Windows® 8
- ・ Microsoft® Windows® 7
- ・ Microsoft® Windows Vista® (Service Pack 1 以降)
- ・ Microsoft® Windows® XP (Service Pack 3 以降)

ポート

- ・ USB ポート (USB1.1/USB2.0)

ケーブル

- ・ USB ケーブル (市販されている「AB タイプ」のケーブルをご用意下さい。)

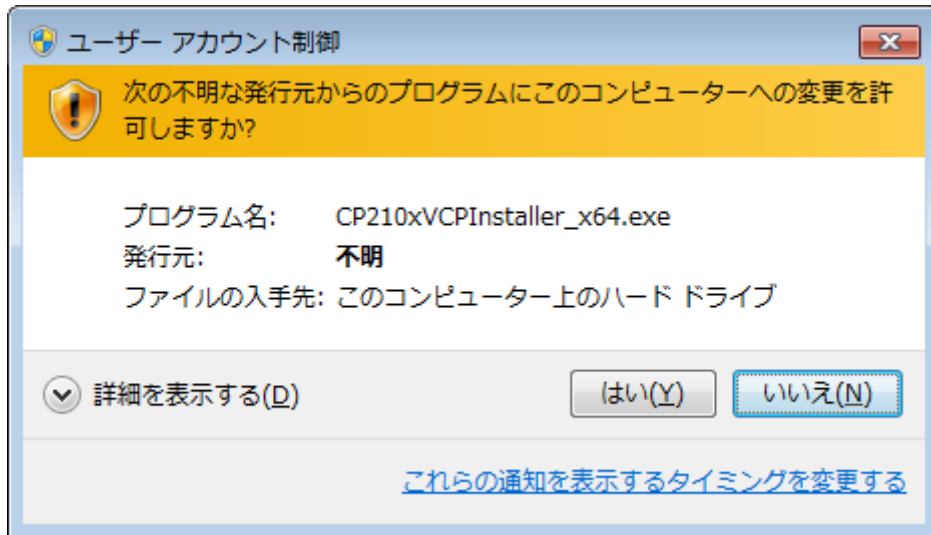
仮想 COM ポートドライバーのインストール方法

【ご注意】 仮想 COM ポートドライバーのインストールが完了するまでは、無線機とパソコンとを USB ケーブルで接続しないで下さい。インストールを行わないで無線機とパソコンとを USB ケーブルで接続した場合、誤ったドライバーがインストールされて正しく動作しなくなる恐れがあります。

【ご注意】 「CP210x_VCP_Windows.zip」を解凍すると、「CP210xVCPInstaller_x64.exe」及び「CP210xVCPInstaller_x86.exe」が生成されますので、お客様のパソコンの OS が Windows の 64bit 版の場合は、「CP210xVCPInstaller_x64.exe」を選択し、32bit 版の OS の場合は、「CP210xVCPInstaller_x86.exe」を選択してください。

仮想 COM ポートドライバーのインストール方法を、Windows® 7 (64bit 版) を例に説明します。

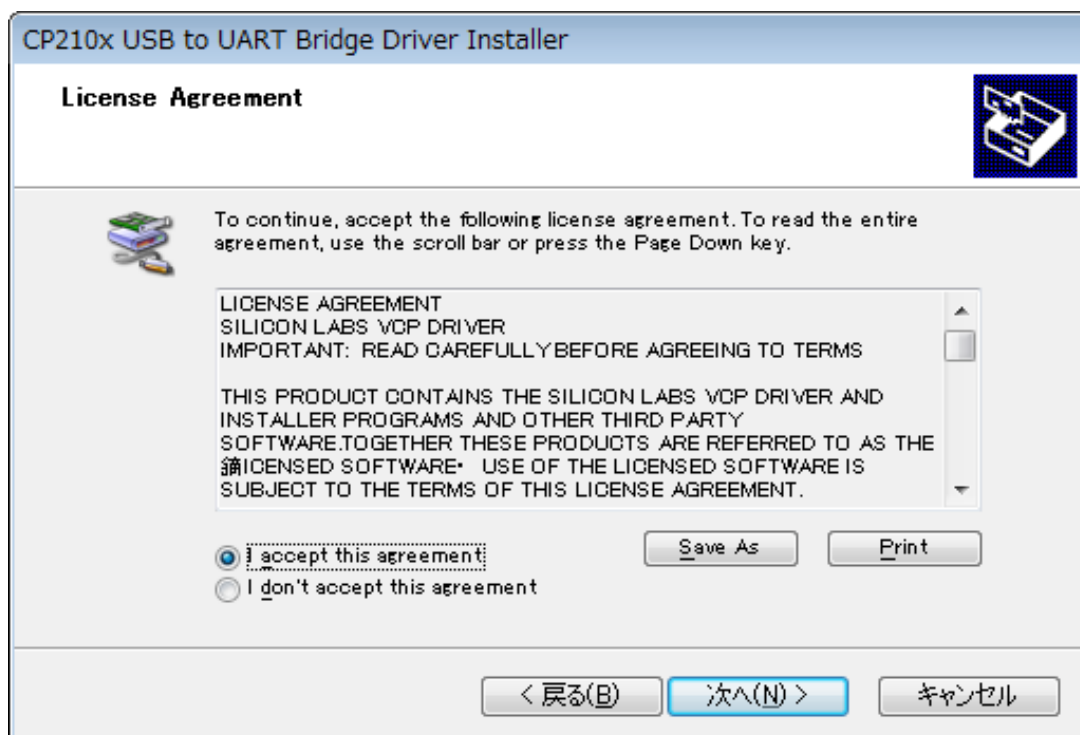
1. Windows® 7 を起動します。
2. 起動しているアプリケーションを全て終了します。
3. ダウンロードしたインストール用プログラム「CP210x_VCP_Windows.ZIP」を任意の場所に解凍します。
4. 解凍された「CP210xVCPInstaller_x64.exe」をダブルクリックして実行すると、下の画面が表示されますので、「はい (Y)」をクリックします。



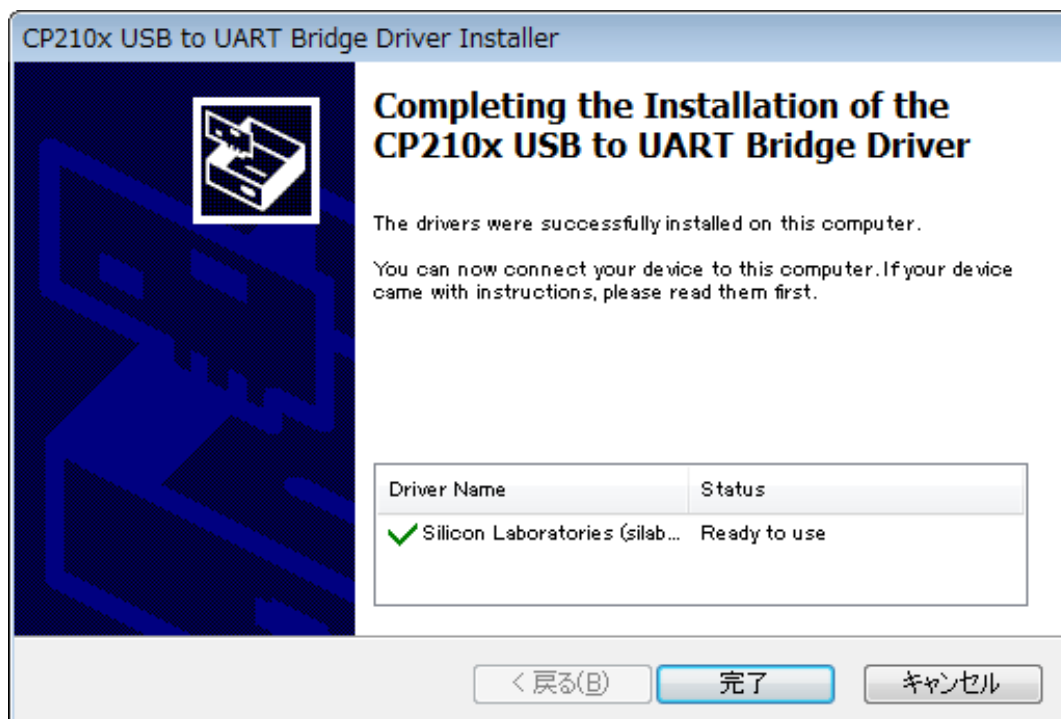
5. 下の画面が表示されますので、[Next>] をクリックします。



6. “License Agreement” の画面が表示されますので、内容をご確認いただき、同意する場合は、“I accept this agreement” にチェックをして、[Next>] をクリックします。



7. “Completing the Installation of the CP210x USB to UART Bridge Driver” の画面が表示されます。[完了] をクリックするとインストールが完了します。
※ ご使用のパソコン環境によっては、再起動が必要になる場合があります。

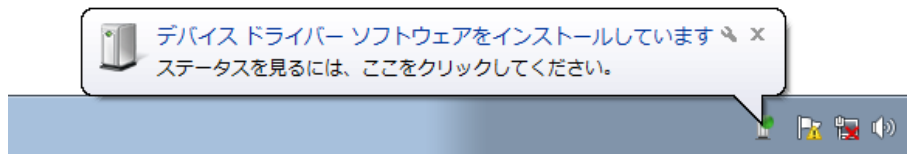


無線機本体とパソコンとの接続について

あらかじめ、無線機本体と外部電源のスイッチを“OFF”にしてください。

パソコンと無線機とを USB ケーブルで接続した後、外部電源のスイッチを“ON”にします。

以下のようなメッセージが表示され、パソコンが新しいハードウェアを認識して、デバイスドライバーのインストールが自動的に始まります。



「デバイスを使用する準備が出来ました」というメッセージが表示されると、インストールは完了です。

なお、ご使用のパソコン環境によっては、再起動の確認画面が表示される場合があります。その際は画面の指示に従って再起動を行ってください。

完了すると、仮想 COM ドライバーおよび、USB オーディオドライバーがインストールされます。

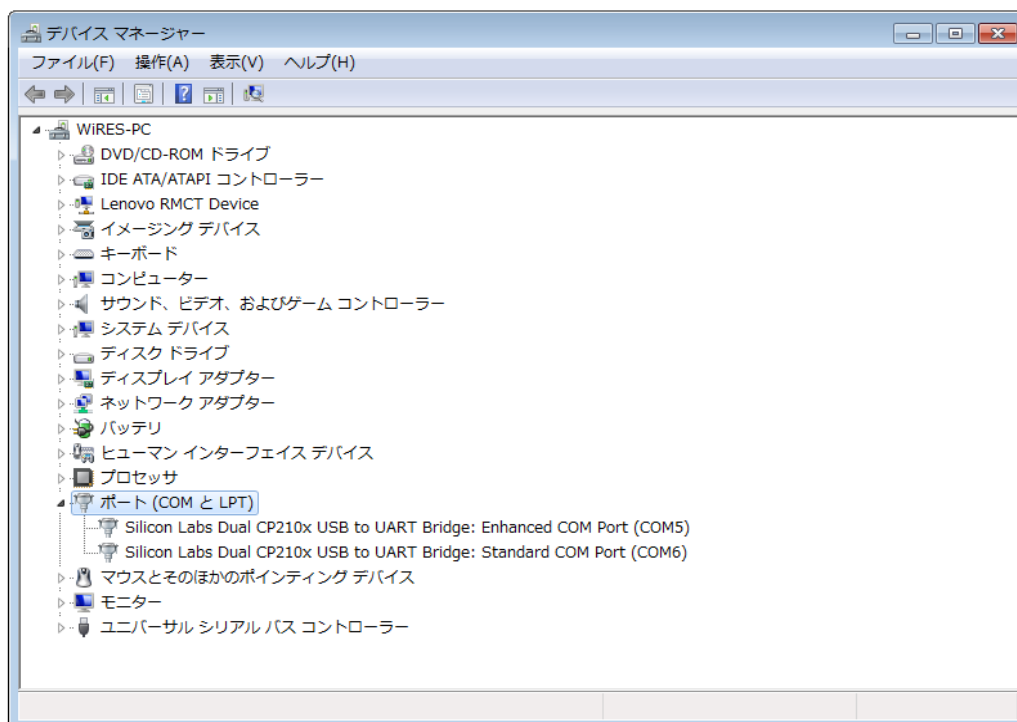
(USB オーディオについては、Windows® 標準ドライバーが自動的にインストールされますので特にドライバーを指定する必要はありません。)

インストールの確認方法および COM ポート番号の確認方法

無線機とパソコンとを接続した状態で、仮想 COM ドライバーが正常にインストールされているかを確認します。

Windows® 7 (64 bit 版) を例に説明します。

1. Windows® 「スタート」 ボタンをクリック→「コンピュータ」を右クリック→「プロパティ (R)」をクリックします。
2. 表示される画面の「デバイスマネージャー」をクリックします。
3. デバイスマネージャー画面の「ポート (COM と LPT)」をダブルクリックします。
以下のような表示が出ていれば正常にインストールされています。



「Silicon Labs Dual CP210x USB to UART Bridge : Enhanced COM Port (COM5)」

「Silicon Labs Dual CP210x USB to UART Bridge : Standard COM Port (COM6)」

(COM**) の部分の番号はパソコンの使用状況によって異なります。

FTDx3000 シリーズは、Enhanced COM Port および、Standard COM Port の2つの仮想 COM ポートを搭載しており、以下の機能を使用することができます。

- ・ CAT 通信及びファームアップデート Enhanced COM Port
- ・ TX 制御 (PTT、KEY、FSK) Standard COM Port

操作 3. の図では、CAT 通信および、ファームアップデートが COM5 で通信可能、TX 制御 (PTT、KEY、FSK) が COM6 で通信可能であることを意味しています。

使用するソフトウェアのポート設定を行う際は、上記の要領で確認した COM 番号を選択して下さい。

【ご注意】

- ・ デバイスマネージャー画面で「！」マークや「×」マークが表示される場合は、仮想 COM ドライバーをアンインストール後、再度インストールを行なって下さい。
- ・ シリアル番号が異なる FTDx3000 を接続した場合、電源を入れると新たに別の COM 番号が付与されますので、ソフトウェア上、無線機毎の COM ポートを設定することが可能です。
- ・ USB ケーブルを使用して TX 制御を行う場合、パソコンの起動時等に無線機が送信状態になる場合があります。
- ・ USB ケーブルを取り外す場合は、パソコンのアプリケーションを終了してから取り外して下さい。

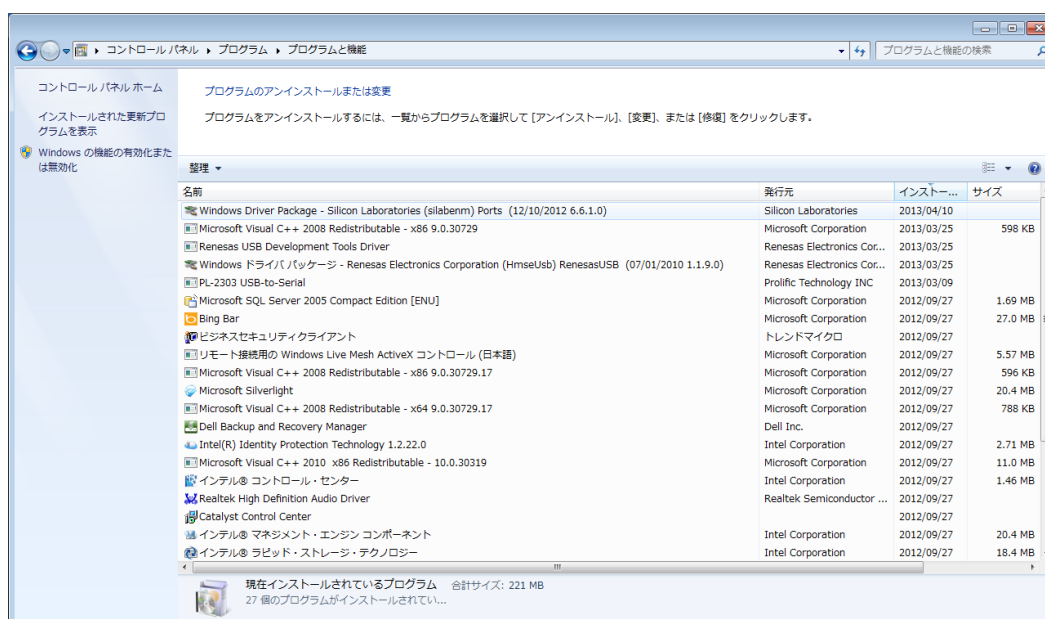
アンインストールについて

仮想 COM ポートドライバをアンインストールする手順を Windows® 7 を例に説明します。

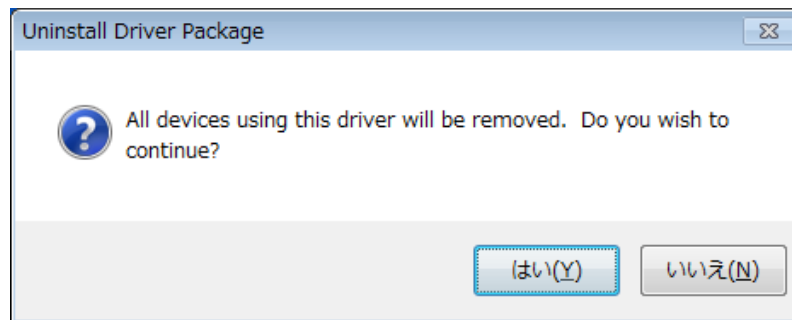
1. Windows® の「スタート」ボタンをクリックし、続けて「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「プログラムのアンインストール」をクリックします。



3. 下記のプログラムをアンインストールします。
「Silicon Laboratories CP210x USB to UART Bridge (Driver Removal)」をアンインストールします。
下記画面の「Windows Driver Package - Silicon Laboratories (silabenm) Ports (****)」をダブルクリックします。



4. 下記画面の [はい (Y)] をクリックし、アンインストールが完了します
5. 画面の指示にしたがって操作をし、再起動の指示があった場合は、指示に従ってパソコンを再起動して下さい。



Microsoft®、Windows®、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows® 8 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。